

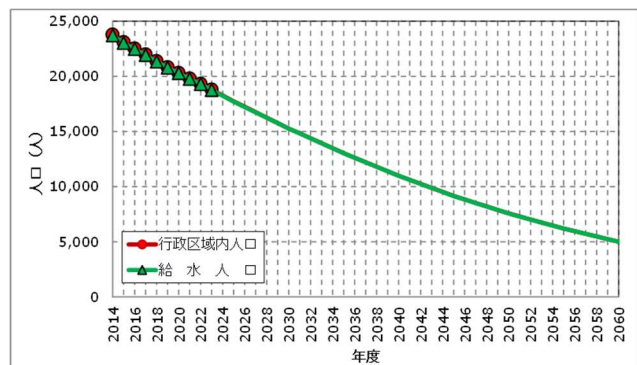
美唄市公共下水道事業経営戦略改定概要版

1. 経営戦略改定の趣旨

公共下水道事業が将来にわたって、サービスの提供を安定的に継続することが可能となるように中長期的な経営の基本計画である「美唄市下水道事業経営戦略」を平成 29 年 2 月に作成しているが、策定から 9 年経過しており、人口減少から使用料が減収しているほか、今後、耐用年数を迎える施設の更新費用が増加していくと想定されることから、中長期的な経営の安定化を目指すため本経営戦略を改定する。

2. 処理区域内人口の予測

経営戦略を目的としているため、各種の政策の効果が少ない場合を想定し、美唄市人口ビジョン（＝社会保障人口問題研究所推計）を用い、令和 5 年度（2023）の実績と推計値を基に補正を行う。



3. 経営の基本方針

今後の大きな課題としては、人口減による使用料収入の減少を見据え、水洗化率及び接続率の向上による収入確保と、支出の低減を図ることや財源の確保が必要である。

- ・事業の執行：引き続き施設の維持管理が中心となるが、効率的かつ効果的な投資（支出）を基本とし事業努力を継続する。
- ・歳入の確保：主財源は、使用料収入、交付金、地方債、一般会計繰入であるが、人口減少に伴う使用料収入の減少は、水洗化率向上による減少率の低減を図る。また、引き続き、交付金及び地方債の効果的な活用による財源の確保に努める。
- ・公衆衛生の改善：下水道への接続率、水洗化率を向上させ、公衆衛生の向上と生活環境の改善を行う。

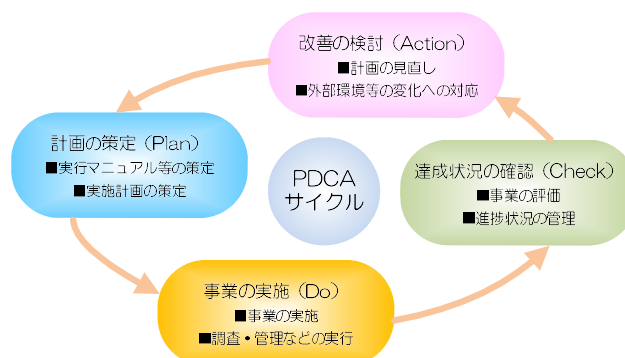
4. 投資・財政計画（収支計画）

ストックマネジメント計画に基づき、老朽化だけではなく点検調査も踏まえた効率的な投資が必要であり、今後も交付金を用いた事業の実施を予定していることから、交付金や地方債を効果的に活用する。

収益的収支については、現段階では赤字にならないよう一般会計からの繰入により対応しておりますが、水洗化率の向上や収納率の向上に努め、下水道使用料の設定について検討していく必要がある。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

上位計画の一つである『美唄市強靱化計画』と同様に施策全体の検証を行い更なる施策推進につなげていくというPDCAサイクルを構築する。当面は本経営戦略に基づき毎年度の進捗管理（モニタリング）による事後検証から、3～5年毎に必要な見直し等更新を行う。



今後、社会情勢の変化や経営の見通しを十分に踏まえ、必要な対策を講じる。